

岩岡・平野のカーネーション

フライングカーネーション

～夢の花が直接やってくる～

神戸市内産のカーネーションは、現在、空輸で札幌方面に出荷されています。その名も「フライングカーネーション」！そう！空飛ぶカーネーションなのです！！その歴史は古く、神戸で栽培が始まった昭和28年頃は、販売について神戸市内ではカーネーションの取扱いがなく、東京へ列車で出荷していました。その後、北海道への販売を検討しますが、東京から北海道までは列車で5日間と、かなりの日にちを要し、品質が劣化するため、30～40年前から飛行機で北海道へ出荷することになったそうです。この美しい花が直接空輸でやってくるということで、「夢の花がやってくる」と大変喜ばれています。

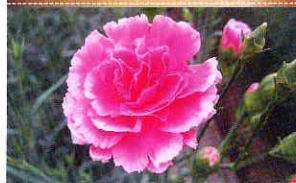
様々な品種

栽培品種も多種多様で年間60万本が出荷されています。そのごく一部をご紹介します。

キッス



チェリーテッシノ



ピンキッシモ



スーパートレンディテッシノ



レスター



マスカット



取り扱い店

農協市場館 六甲のめぐみ 神戸市西区押部谷町高和字性海寺山 1557-1

農協市場館 ピカリショップ 神戸市西区岩岡町岩岡 944-1

KOBE
UNESCO City of Design

神戸が誇る美しい花

Kobe Flowers' Story vol.5

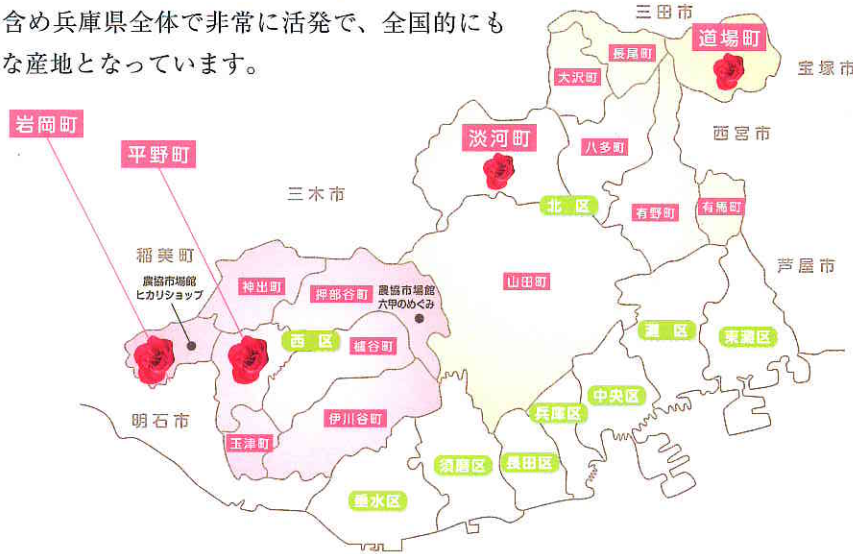
西区岩岡町・平野町のカーネーション





地域と歴史

神戸市のカーネーション栽培は、昭和初期に北区の有野町で夏切りの中輪系を中心に始まりました。西区では、昭和28年頃から温室栽培が始まり、今では平野町と岩岡町で栽培されています。第2次オイルショックまでは大輪系品種が栽培の主体でしたが、それ以降はスプレー系を中心に多種多様な品種を栽培しています。その他、北区の淡河町・道場町で栽培されています。カーネーション栽培は神戸市を含め兵庫県全体で非常に活発で、全国的にも有名な産地となっています。



カーネーション

科・属名 ナデシコ科ナデシコ属

和名 阿蘭陀石竹(おらんだせきちく)、麝香撫子(じゃこうなでしこ)

花言葉 「無垢で深い愛」 赤「母の愛」/ピンク「女性の愛」/白「純粋な愛」

花待ち 夏場は1週間、冬場は20日程度



古代ギリシャの時代から人々に愛されてきたカーネーション。16世紀になってイギリスで改良が始まると、様々な色が出現し、現在ではほとんどすべての色があると言われています。また、現在あるカーネーションは、ほぼ全てが交雑種で、基本種である一重咲きのダイアンサス・カリオフィルスにいくつかの種が交配されたものです。

1本の茎に大きな花を咲かせる華やかなスタンダードタイプ(1輪咲き)と、枝分かれした何本かの茎に3~10個の花を咲かせる可愛らしいスプレータイプがあり、日本でも多くの園芸品種が生み出されています。

親しみやすい美しさとアレンジのしやすさ、そして花持ちのよさから、日本中の人々に愛され続けています。



「母の日」のStory

カーネーションといえば、母の日には欠かせない花ですが、なぜ母の日にカーネーションを贈るようになったのでしょうか?その由来にはいくつかの説がありますが、有名なのは、アメリカのウエスト・バージニア州に住んでいたアンナ・ジャービスという女性によって始められたというものです。

彼女が自分の母の命日に、母親が好きだった白いカーネーションを協会で信者に配ったことをきっかけに、「母の日」をつくって国中で祝うことを提案します。その運動は次第に大きくなり、ついには時の大統領、ウィルソンをも動かします。そうして1914年には5月の第2日曜日を母に感謝する日として、「母の日」が制定され、祝日となったのです。日本では、1949年頃からアメリカにならって祝うようになりました。

Mother's Day



栽培の様子

神戸市内には、5戸のカーネーション栽培農家があり、温室で丹精こめた美しいカーネーション栽培にはげんでいます。11月~5月が主な出荷時期です。

